

「質の高い、安全で信頼のおける医療の提供に取り組んでいきたい」と話す石川病院長。



新病棟が完成し通常診療を開始 筑西市民病院

3月11日に発生した東日本大震災により、入院の受け入れができなくなっていた筑西市民病院は、旧病棟の西側に新入院病棟が完成し、11月1日より入院受け入れを開始しました。石川義典^{（いしかわたのり）}病院長に、筑西市民病院が目指す地域医療について、お話をいただきました。

病院の為すべきこと

当院は、東日本大震災により、入院病棟及び外来棟が被害を受け、使用ができなくなっていました。したが、11月1日より新病棟での入院受け入れが可能となり、7か月ぶりに通常診療を始めることができました。これを機に、筑西市の基幹病院としての機能回復を図り、地域住民の皆様の健康を守るべく、日々努力してまいります。

新病棟につきましては、ナースステーションを囲むように23病室（うち個室14）50ベッドがあり、手術室やデイルーム、介助浴室などを備えています。

過去3年、当院の年間延べ外来受診者数は約7万人、休日・夜間の受診者数は約2,400

人にのぼります。

一時的に痛みを軽減したり、熱を下げたりするなどの応急処置から、入院可能な体制を整えることにより、休日・夜間も含め、急病になった市民の皆様を不安を取り除く役割も担うことを目指してまいりました。

また、入院患者数は年間延べ約1万6,000人を超えております。地域の医療機関から患者様を紹介していただき、また、当院からできる限り地域の医療機関に逆紹介するという方針の中で、一定の役割を果たしているものと自負しております。

今後目指す診療は

① 地域の救急医療の拠点

24時間365日、市民の最も身近な救急医療の要として、入

院医療を提供するとともに、重篤な症例を大学病院などの高次医療機関に紹介する円滑なシステムの構築に努めております。夜間・休日の救急対応や救急車の受け入れ体制を整備してまいります。

② 在宅医療の拠点

高齢化社会が進む中で、高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるように、訪問診療、訪問看護などの在宅医療の強化を図ってまいります。

③ 健康管理の拠点

生活習慣病は近年増加傾向にあり、虚血性心疾患や脳血管疾患に大きく関わっております。また、日本人の死因の多くを占める癌、これらの早期発見、早期治療に取り組むため、人間ドックや検診の充実を目指してまいります。

これら3つを最重要事項に位置づけ、診療部、看護部、医療技術部、事務部が密に連携し、最適な医療の提供と療養の支援に取り組んでまいります。

今後も質の高い、安全で信頼のおける医療が提供できるよう職員一体となり、一層努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をどうかお願い申し上げます。

12月より

防災行政無線の放送内容をメール配信します

市では、これまで防災行政無線の放送が聞き取りづらいなどの声をいただき、火災情報以外は従来の音声合成から職員の肉声による放送に切り替えて運用していますが、今後の震災時における市民のみなさんへの情報伝達手段のさらなる充実を図るため、12月より携帯電話やパソコンへメール配信サービスを開始します。

またホームページ上に随時掲載、公開します。

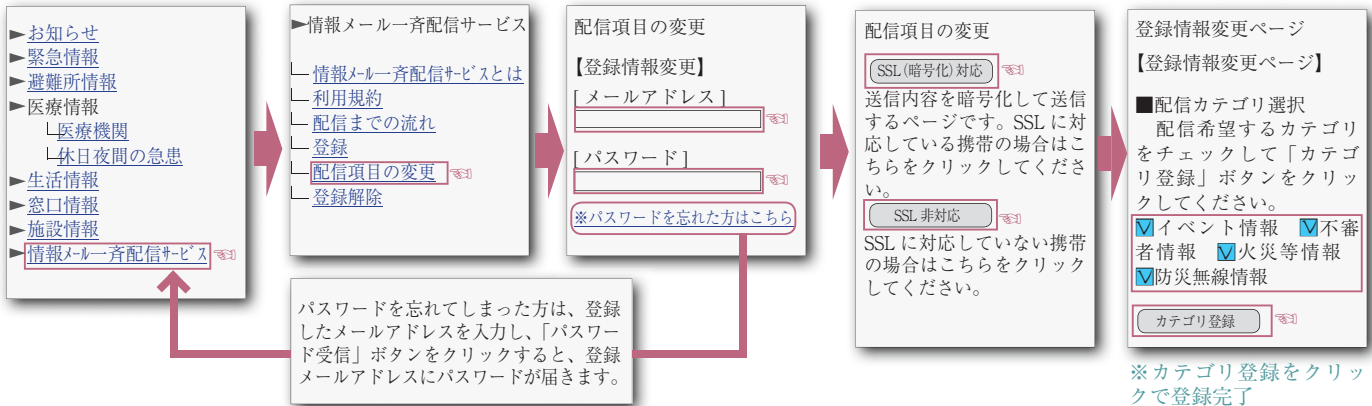


これまで登録している人で配信項目の追加・変更するには

携帯電話を使って登録、配信項目の変更、登録解除をする場合、http://www.city.chikusei.lg.jp/mobile/keitai/mail_service/ にアクセスいただくか、二次元コード対応携帯電話をお持ちの方は、右記のコードを携帯電話で読み取り、登録・配信項目の変更・登録解除することができます。



◎配信項目追加・変更の流れ



メール配信サービスを新規登録するには

メールアドレスを登録していただくことによって、市からの様々な情報を携帯電話やパソコンへメールを配信するサービスが受けられます。

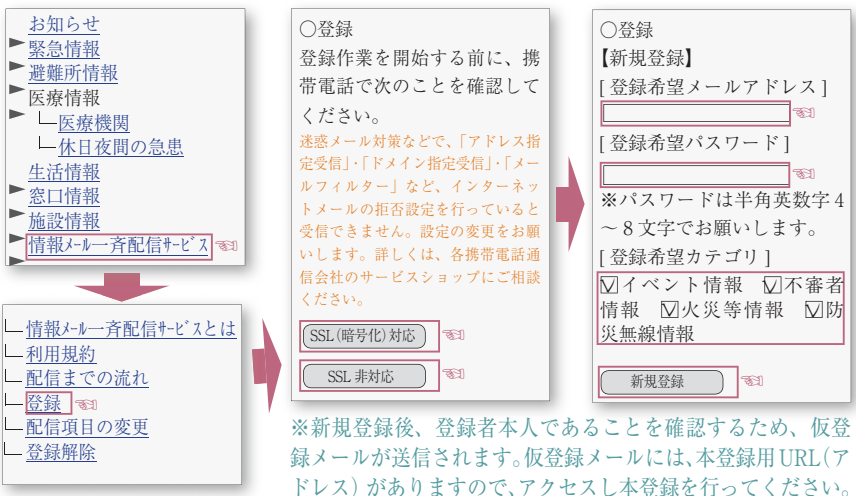
- ▶ 配信する情報 ①火災等情報 ②不審者情報
- ③イベント情報 ④防災無線情報
- ▶ 情報の配信 随時配信します。
- ▶ 登録先アドレス

■携帯電話 http://www.city.chikusei.lg.jp/mobile/keitai/mail_service/

■パソコン http://www.city.chikusei.lg.jp/mail_service/



◎新規登録の流れ



◎メール配信サービスに関するお問い合わせ… 広報広聴課 内線313

◎配信メール内容に関するお問い合わせ… 配信した各担当課まで